

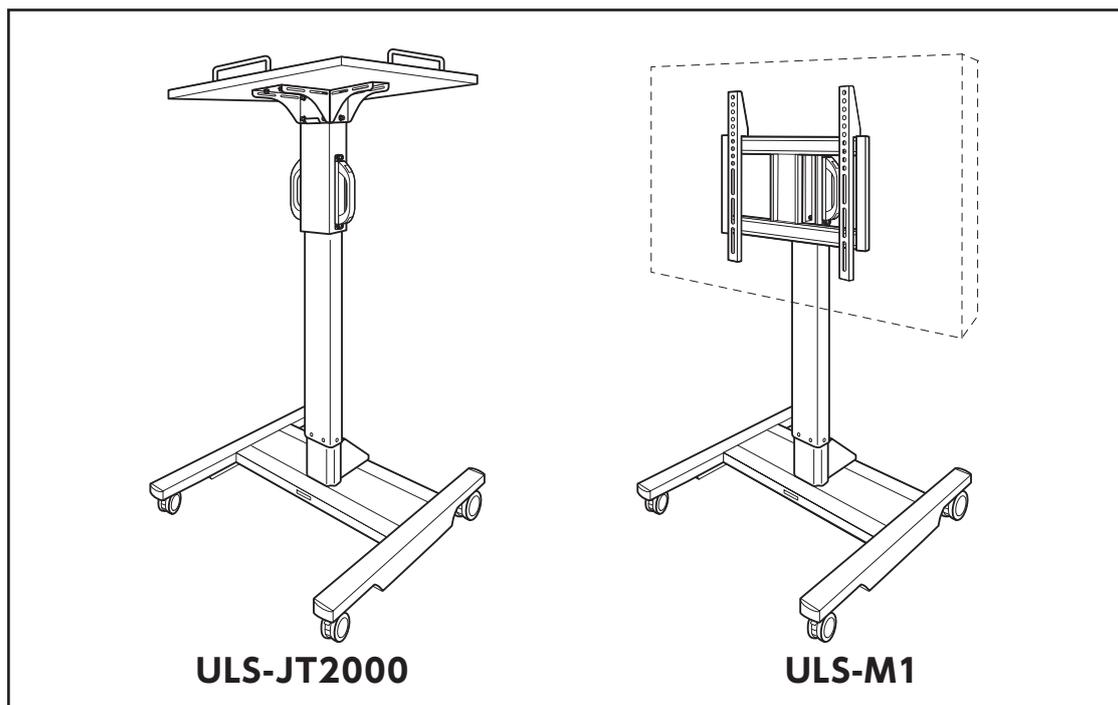
組立説明書

保管用

電動昇降スタンド
(コードレスタイプ)

ULS-JT2000 / ULS-M1

(当製品は3梱包となります)



ULS-JT2000

ULS-M1

〈仕様〉

型名	総積載質量	最大外形寸法	本体質量
ULS-JT2000	60.0 kg	W900×D950×H1562~1962mm	60.0kg
ULS-M1	40.0 kg	W900×D950×H1485~1885mm	45.5kg
ULS-T(別売)	10.0 kg	W450×D439×H95mm	3.7kg

当製品を正しくご使用いただくために、必ず組立説明書をお読みください。

また、この組立説明書は大切に保管してください。

なお、組立不良、取扱不備による事故、損傷については、当社は責任を負いませんのでご了承ください。

安全上のご注意

この組立説明書では安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するため、右記のような表示を行っておりますので内容をよく理解したうえで本組立説明書をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示します。

組立前に

- パーツリストとパーツを照合し、不足のパーツがないか確認してください。
- 組み立て作業には、プラスドライバーおよび付属の六角レンチをご用意ください。また、組み立て作業の間はダンボール箱を平らに広げ、床に敷いてご使用ください。
- それぞれのパーツは、正しい取付箇所、取付方向があります。「組立・取付のしかた」をよく読んで、適切な箇所に適切な方法で、組み込んでください。

⚠ 警告

- 不完全な組み立ては、スタンドの転倒事故等の原因となります。それぞれのパーツのボルト類は完全に締め付けてください。
- ディスプレイを本体に取り付ける際は必ず3人以上でおこない、ディスプレイを保持した状態で全てのボルトを締め付けてください。ボルトを締め付ける前にディスプレイから手を離すとディスプレイとスタンド本体の隙間に手を挟んだり、ディスプレイを傷める原因となります。
- ディスプレイや天板につかまったり、ふらさがったりしないでください。スタンドの転倒やディスプレイ・機器等の落下・破損の原因となります。
- 当製品の上下調整は、ディスプレイや機器等の設置後にコントロールスイッチでおこなってください。上下調整をする際は、障害物等に十分注意しておこなってください。特に上昇の際は天井などにぶつからないように注意してください。
- 移動の際は必ずコントロールスイッチで最低の高さまで下げ、ディスプレイや機器等を保持しながらハンドルを持ち、必ず2人以上でおこなってください。
- 段差のある床での移動は本体の破損や転倒の原因となりますのでおこなわないでください。また、子どもによる移動は絶対におこなわないでください。
- バッテリーの充電時に電源プラグをコンセントに差し込む際は、濡れた手で抜き差ししないでください。また、電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱し、火災、感電の原因となります。
- 当製品を濡らしたり、改造・分解しないでください。特にモーター部に触れたり付属の充電アダプター以外で充電しないでください。感電や故障の原因となります。
- 万一、バッテリーや充電用パワーサプライの変形破損や液漏れが発生した場合は、使用を直ちに中止してください。
- 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。また、重いものを乗せたり、挟み込んだりしないでください。電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 当製品を使用できるのは日本国内のみです。海外では電圧が異なりますので使用できません。
- 警告ラベルを製品本体に貼付しておりますので、よくご覧いただきながらご使用ください。

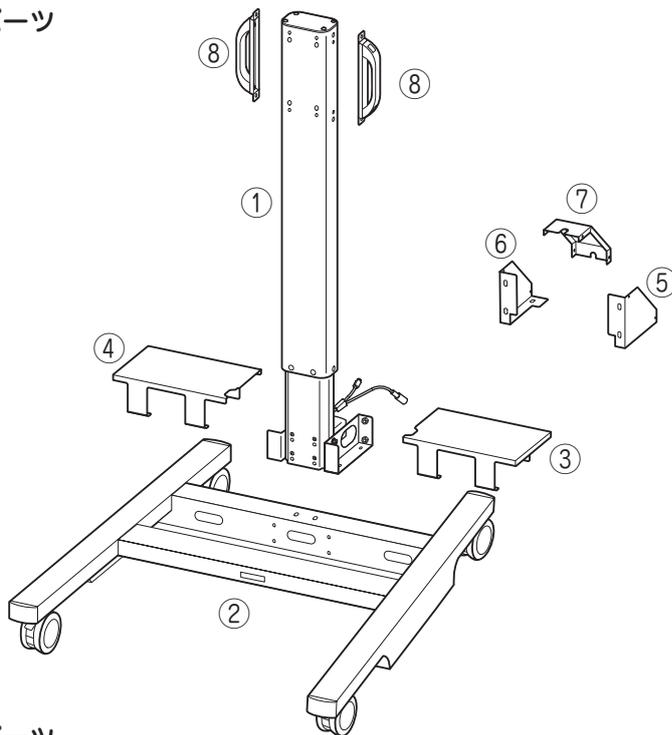
⚠ 注意

- 載せる機器等は仕様欄の総積載質量を超えないようにしてください。
- スタンドを組み立てる際は必ず付属のボルト類を使用してください。
- 当製品は必ず水平な床に設置し、キャスターのストッパーをロックしてください。設置状況に応じてアジャスターや床固定金具を使用して固定してください。（取付は任意）
- ディスプレイ・機器等の設置条件については、必ず製品に付属の取扱説明書に従ってください。
- スタンドを長期間(約2ヵ月以上)使用しない場合は、バッテリー接続ケーブルを本体から抜いてください。再び使用を開始する前は、必ずバッテリーを充電してください。
- 当製品は経年劣化します。定期的に異常が無いかな自主点検をしてください。また、10年を目安に交換をご検討ください。

パーツリスト

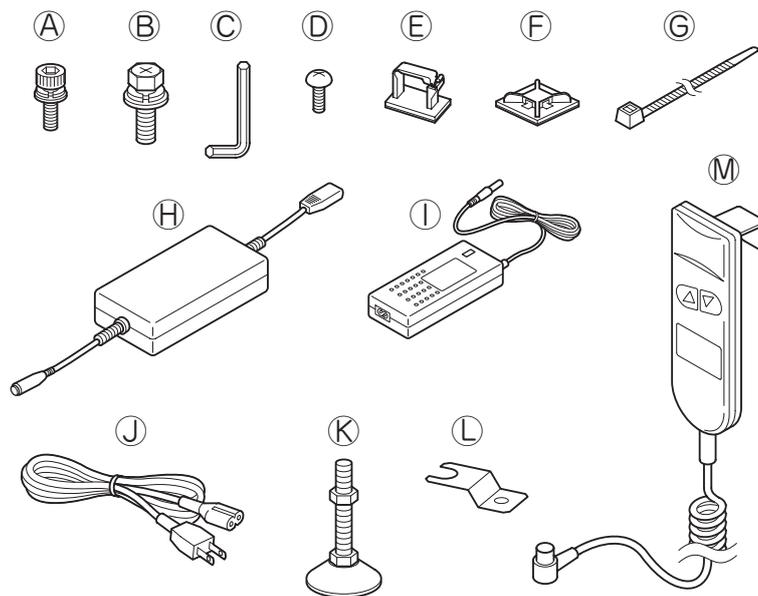
■共通パーツ：ULS-BS（支柱・ベース）

●大パーツ



No.	大パーツ名	数
1	本体支柱	1
2	本体ベース	1
3	本体ベース用カバー（右）	1
4	本体ベース用カバー（左）	1
5	三角補強板（右）	1
6	三角補強板（左）	1
7	三角補強板用カバー	1
8	ハンドル	2

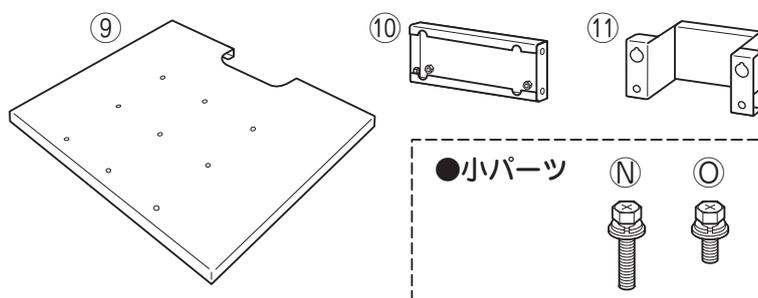
●小パーツ



No.	小パーツ名	数
A	取付ボルト (M6 × 20)	18
B	取付ボルト (M8 × 20)	4
C	六角レンチ (M6 用)	1
D	三角補強板用カバー取付ボルト (M4×10)	4
E	コードクランプ	2
F	マウントベース (結束バンド固定具)	4
G	結束バンド	4
H	バッテリー	1
I	充電用パワーサプライ	1
J	充電用電源コード	1
K	アジャスター	4
L	アジャスター固定金具	4
M	コントロールスイッチ	1

■オプション棚板 ULS-T（別売）

●大パーツ



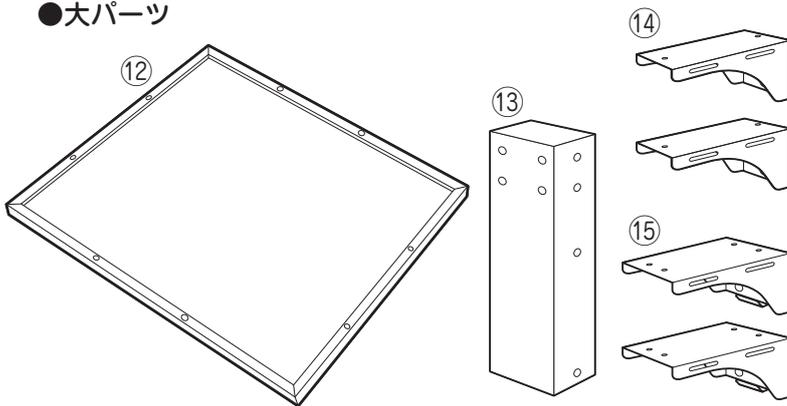
No.	大パーツ名	数
9	棚板	1
10	アタッチメント	1
11	支柱固定金具	1

No.	小パーツ名	数
N	取付ボルト (M6 × 20)	4
O	取付ボルト (M6 × 14)	4

パーツリスト

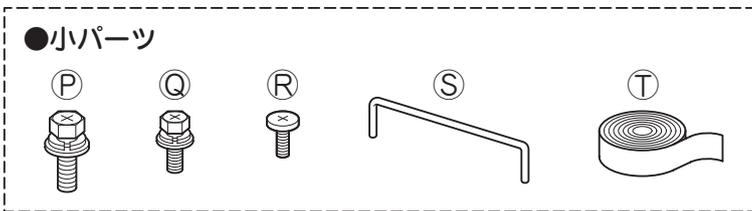
■ULS-JT2000パーツ：ULS-JT（天板ユニット）

●大パーツ



No.	大パーツ名	数
12	天板	1
13	天板用支柱	1
14	固定アングル(左右用)	2
15	固定アングル(前後用)	2

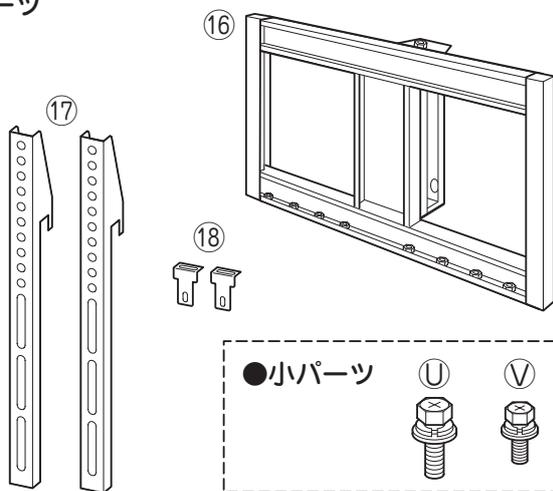
●小パーツ



No.	小パーツ名	数
P	取付ボルト (M8×20)	12
Q	取付ボルト (M6×14)	12
R	落下防止バー用取付ボルト (M5×10)	8
S	落下防止バー	4
T	マジックベルト (2m)	2

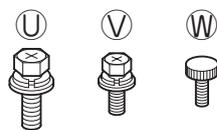
■ULS-M1パーツ：ULS-M（ディスプレイユニット）

●大パーツ



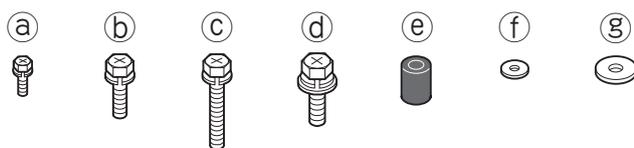
No.	大パーツ名	数
16	ディスプレイ取付ベース	1
17	ディスプレイ取付金具	2
18	L金具	2

●小パーツ



No.	小パーツ名	数
U	取付ボルト (M8×20)	4
V	取付ボルト (M6×14)	2
W	つまみネジ (M6×15)	2

●ディスプレイ取付用ボルトセット



No.	ディスプレイ取付用ボルトセット	数
a	ディスプレイ取付ボルト (M4×12)	4
b	ディスプレイ取付ボルト (M6×14)	4
c	ディスプレイ取付ボルト (M6×35)	4
d	ディスプレイ取付ボルト (M8×20)	4
e	スペーサー (t=20mm M6×35用)	4
f	平ワッシャー (M4用)	4
g	平ワッシャー (M6用)	4



ディスプレイの取付ボルトサイズはディスプレイメーカーにより様々です。ディスプレイメーカーの取扱説明書の指示に従い、設置上の安全性・給気・排気等の諸条件を確認し、さらにお取り付けになる方が安全性を確認してから、本組立説明書に従い適切なボルトおよびスペーサー・ワッシャーを使用してお取り付けください。尚、取付不備や本組立説明書の警告・注意を怠った場合の事故・損傷については、当社は責任を負いません。

組立・取付のしかた

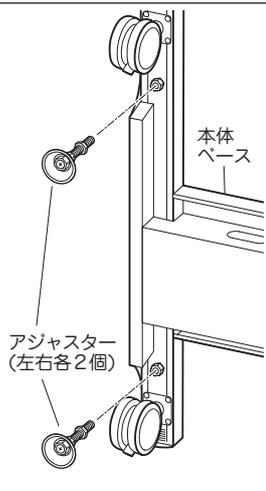
1 本体支柱と本体ベースの取付 (必ず2人以上でおこなうこと)

〈組立前に〉

付属のアジャスターをご使用の場合は、最初にアジャスターを取り付けます。

図のように本体ベースを縦にして、左右各2ヶ所にアジャスターをねじ込んでください。

取り付け後、キャスターが床から浮き上がらないようにアジャスターの高さを調節してください。

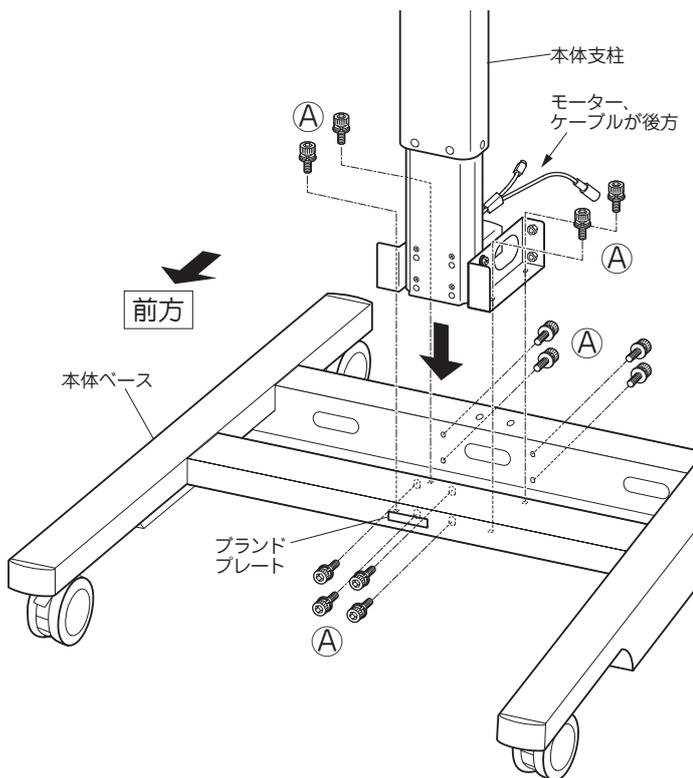


- ① 本体ベース全てのストッパー付キャスターをロックしてください。
- ② 図のように本体ベース中央の取付位置に本体支柱をセットして、取付ボルトA (12本) を六角レンチCで締め付けて確実に固定してください。本体ベースと本体支柱には前後方向がありますので取り付ける際は十分注意してください。

- ・ 本体ベース : ブランドプレート貼付面が前方
- ・ 本体支柱 : モーター、ケーブルが後方

警告

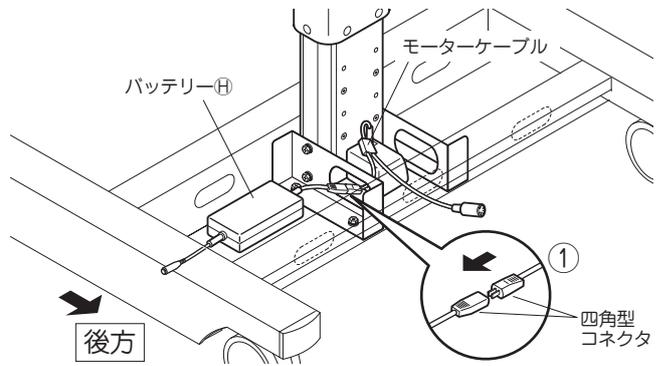
- 取り付ける際は本体支柱をしっかりと持ち上げ、本体ベースの取付位置に慎重に降ろしてセットしてください。
- ボルトは完全に締め付けてください。不完全な組み立ては、スタンドの転倒事故の原因となります。



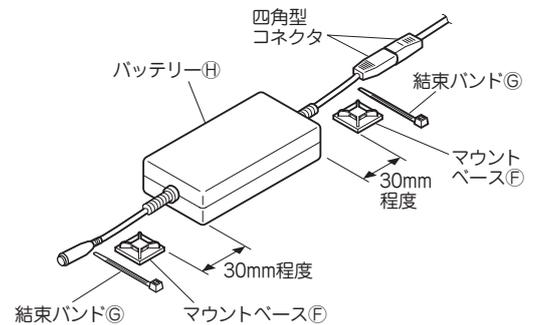
2 バッテリーの接続・固定

- ① バッテリーHの四角型コネクタを支柱下部側面の穴に通し、モーターケーブルの四角型コネクタと接続してください。

※バッテリーは出荷時に約75%充電されています。使用前に必ず満充電にしてご使用ください。バッテリーの充電方法に関しては末頁9をご参照ください。



- ② 本体ベースの収納スペースにバッテリーHの置き場所を決めて、図のような間隔でマウントベース2個を収納スペースの底面に貼り付けてください。
- ③ マウントベースFに結束バンドGを通し、2本のコードを固定してください。

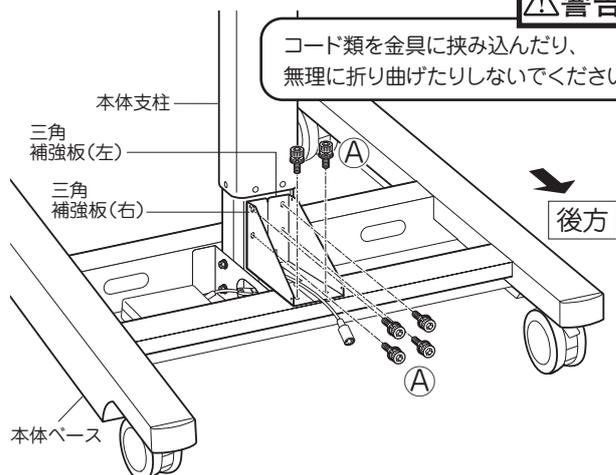


3 三角補強板の取付

- ① 図のように本体支柱と本体ベースの後方下側の取付穴に三角補強板(左・右)の取付穴を合わせ、取付ボルトA (各3本) を六角レンチCで締め付けて完全に固定してください。

警告

コード類を金具に挟み込んだり、無理に折り曲げたりしないでください。



組立・取付のしかた

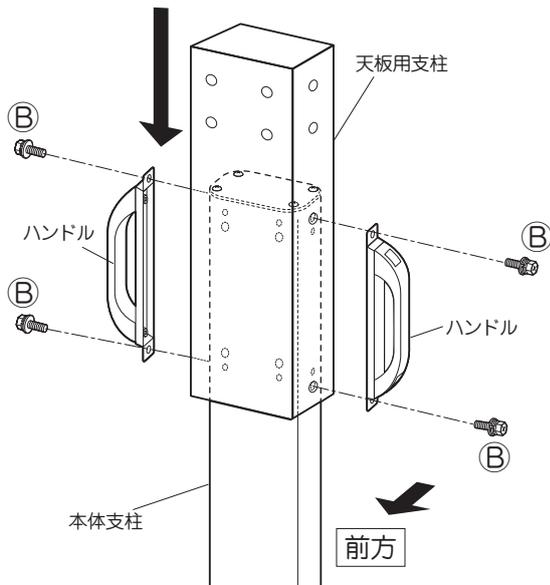
4 各パーツの取付

※項目4は、機種によって組立方法が異なります。ご使用になる機種の説明に従って組み立てをおこなってください。

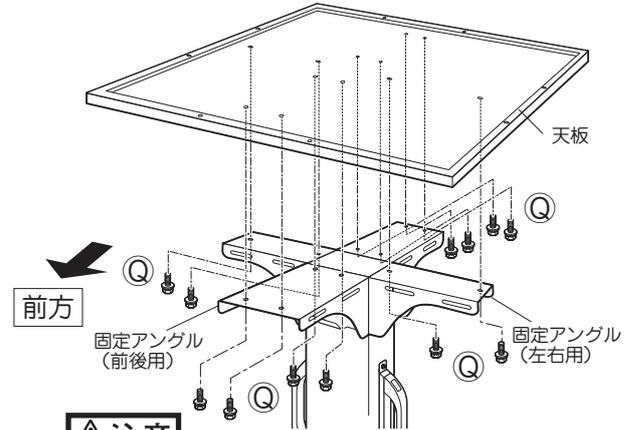
ULS-JT2000の場合

4-1 天板用支柱とハンドルの取付

①天板用支柱を本体支柱の上から差し込み、スタンド本体に付属のハンドルと共に取付ボルト⑥(各2本)でしっかりと締め付けて固定してください。



②固定アングルの上に天板を乗せ、下から取付ボルト⑩(12本)を取り付け、①で仮止めしていた取付ボルトも含めすべてのボルトをしっかりと締め付けて固定してください。

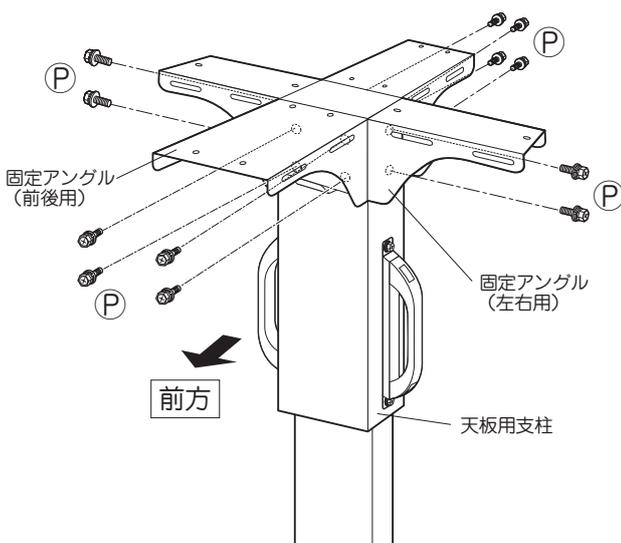


注意

天板底面と固定アングルが隙間なく水平・垂直に取り付いていることを確認してください。水平・垂直に取り付いていないと事故等の原因となります。

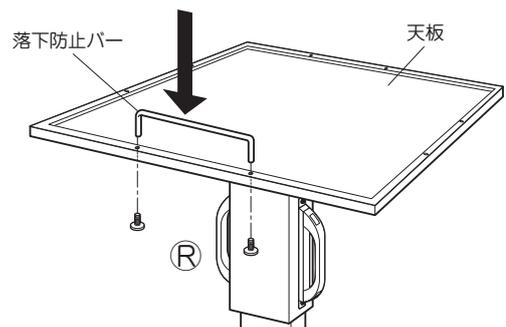
4-2 天板と固定アングルの取付

①天板用支柱に固定アングルを取付ボルト⑨(12本)で仮止めしてください。固定アングルは前後用と左右用の2種類がありますので注意してください。



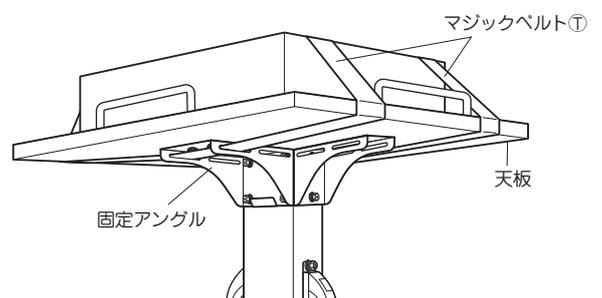
● 落下防止バーの取付(任意)

図のように天板上面の丸穴に落下防止バーを差し込み、天板下面から落下防止バー用取付ボルト⑧(各2本)で固定してください。



● 機器保持用マジックベルト(任意)

載せた機器の保持用にマジックベルト①が付属されています。落下の防止等にご利用ください。



組立・取付のしかた

※項目4は、機種によって組立方法が異なります。ご使用になる機種の説明に従って組み立てをおこなってください。

ULS-M1の場合

4-3 ディスプレイ取付金具の ディスプレイへの取付

警告

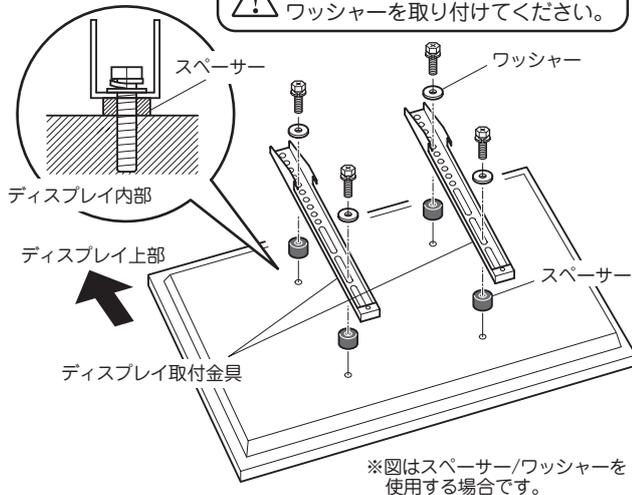
M6×35を使用する場合はディスプレイとディスプレイ取付金具の間に必ずスペーサー⑩を挟み込んでください。また、M4・M6ボルトを使用する場合は必ずボルトに平ワッシャー⑪・⑫をセットしてからお使いください。スペーサーおよびワッシャーの取り付けを忘れず、ディスプレイの落下や破損などの原因となります。

注意

ディスプレイの機種により、縦付けの可否および方向性（上部・下部）が定められておりますので、取り付けの際はディスプレイの仕様を必ず確認してください。

- ①図のようにディスプレイの背面取付穴に上下方向を間違えないようにディスプレイ取付金具の穴を合わせ、ディスプレイ取付用ボルトセットの中から最適なボルトを選び、確実に締め付けて固定してください。

⚠ M4・M6ボルトをご使用の際は必ずワッシャーを取り付けてください。



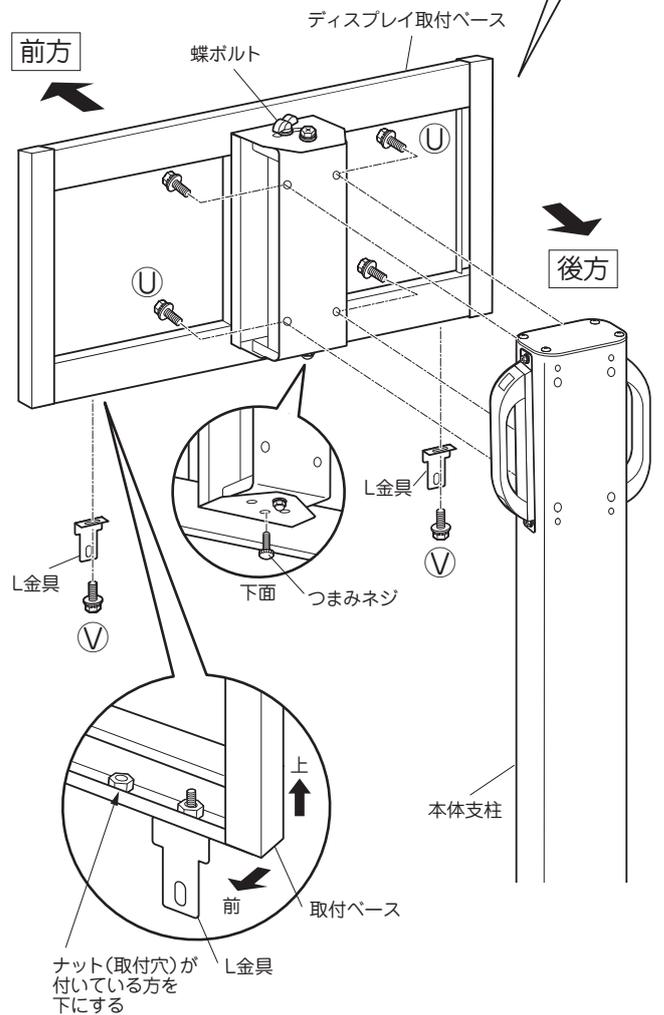
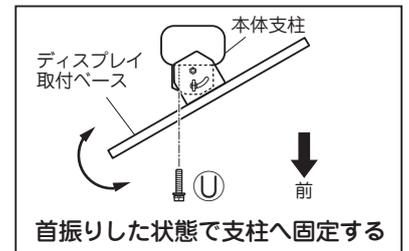
- ②本体支柱の前面の取付穴にディスプレイ取付ベースの取付穴を合わせ、取付ボルト⑬(4本)でしっかりと締め付けて固定してください。

■取り付ける際は、一度ディスプレイ取付ベース上面の蝶ボルトを緩め、下面のつまみネジを取り外し、首振りした状態でおこなってください。

■取付ベースの取付方向に注意してください。

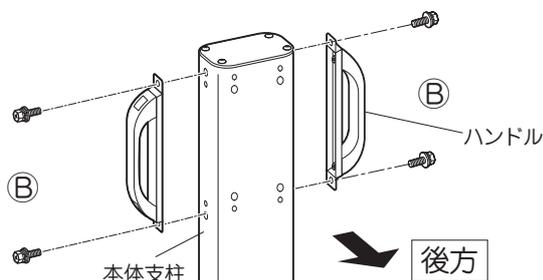
- ③4-3でディスプレイ背面に取り付けたディスプレイ取付金具のピッチに合わせて取付ベースの下にL金具の取り付け向きに注意しながら、取付ボルト⑭で仮止めしてください。

- ④②で緩めた上面の蝶ボルトを締め付け直し、下面のつまみネジを取り付け直してください。



4-4 ディスプレイ取付ベースと ハンドルの本体支柱への取付

- ①スタンド本体に付属のハンドルを取付ボルト⑮(各2本)でしっかりと締め付けて固定してください。



組立・取付のしかた

※項目4は、機種によって組立方法が異なります。ご使用になる機種の説明に従って組み立てをおこなってください。

4-5 ディスプレイの本体への取付 (必ず3人以上でおこなうこと)

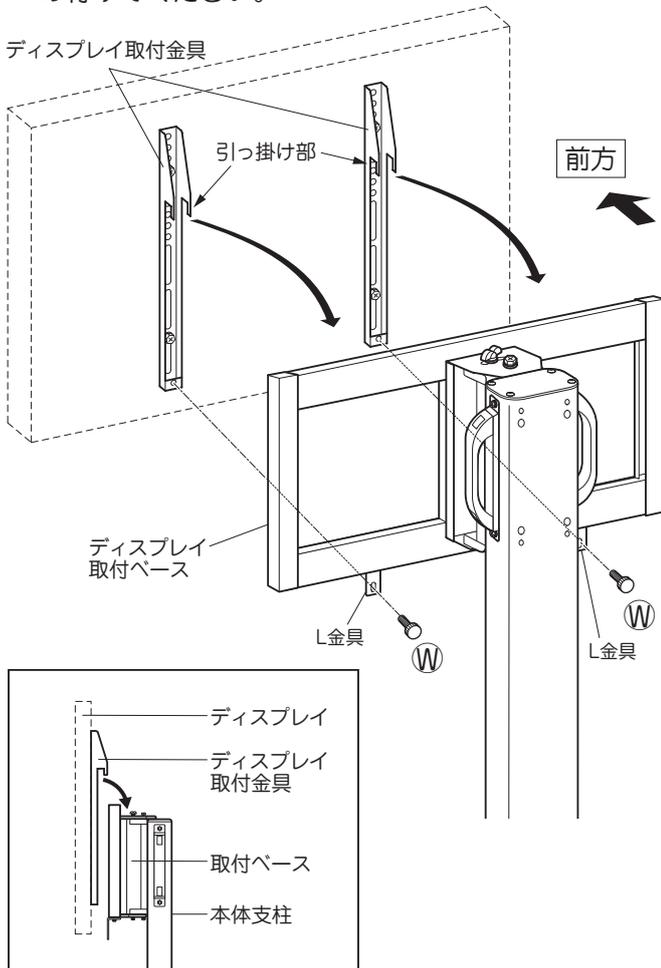
警告

- 本体にディスプレイを取り付ける際は、必ず取付専門業者に依頼してください。取り付けに不備があると破損やけがの原因となります。
- ディスプレイを持つ時は、ディスプレイの取扱説明書の指示に従ってください。指示に従わず、誤った持ち方をすると破損や故障、けがの原因となります。
- ディスプレイを縦付けで取り付ける場合は不安定になりやすいので、ディスプレイ上部をしっかりと支えて慎重におこなってください。

注意

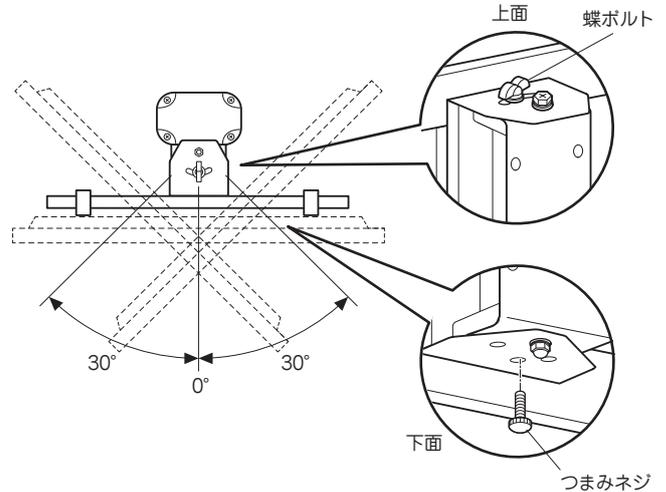
- ディスプレイ取付金具が左右対称になるように取り付けてください。
- ディスプレイ取付金具は確実に垂直に引っ掛けてください。

- ①ディスプレイ取付金具の引っ掛け部をディスプレイ取付ベースの上側に慎重に引っ掛けてください。
- ②ディスプレイ取付金具下側の取付穴とL金具を合わせてつまみネジ^W (2本) で締め付けてください。
- ③4-4の③でL金具を仮止めしたボルト^Vを完全に締め付けてください。



4-6 ディスプレイの首振り・傾斜調整のしかた

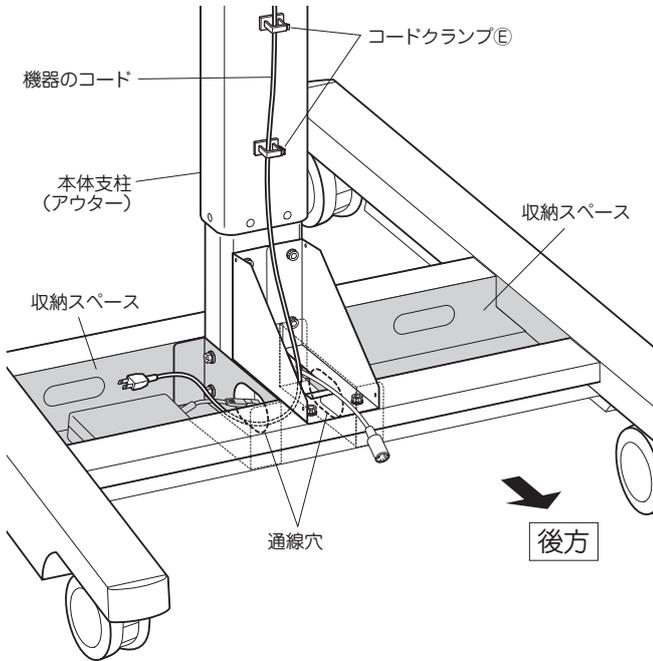
- ①ディスプレイの首振りは、最大で左右各30°まで調整が可能です。ディスプレイ取付ベース上面の蝶ボルトを緩めて下面つまみネジを取り外し、ディスプレイをお好みの位置に動かし、蝶ボルトを締め付けて固定してください。なお、首振り調整は慎重におこなってください。強く首振りをする、ディスプレイ、スタンドの破損や事故の原因となります。
- ディスプレイの首振りをしない(0°または30°で固定)の場合は、下面つまみネジを任意の角度で固定し、上面蝶ボルトを締め付けてください。



組立・取付のしかた

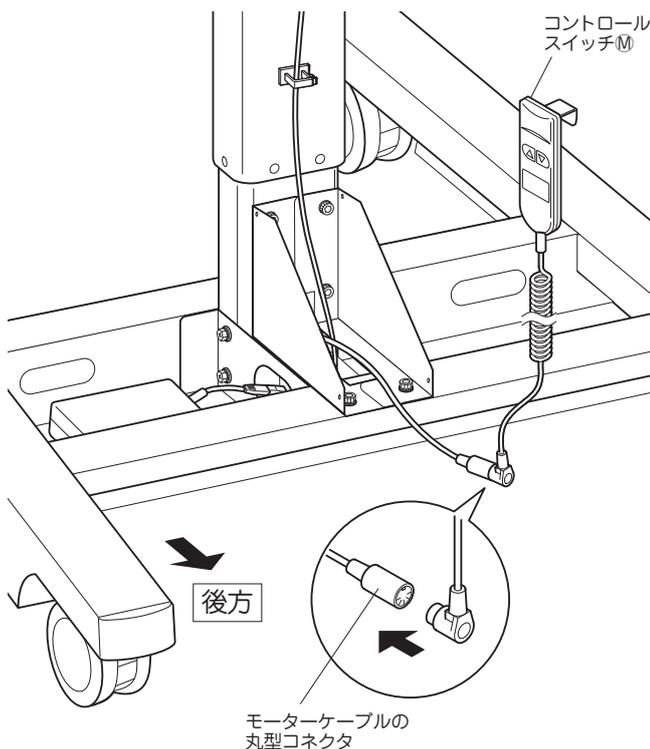
5 配線・コードクランプについて

- ①必要に応じて、本体支柱アウター背面の適当な位置にコードクランプ⑥を貼り付けてください。(任意)
- ②設置機器からのコードを本体ベースの小型機器収納スペースに通して配線をする場合は、図のように支柱下部側面の穴に通してあげてください。



6 コントロールスイッチの接続

- ①本体支柱背面のモーターケーブルの丸型コネクタとコントロールスイッチ⑭のコネクタを接続してください。

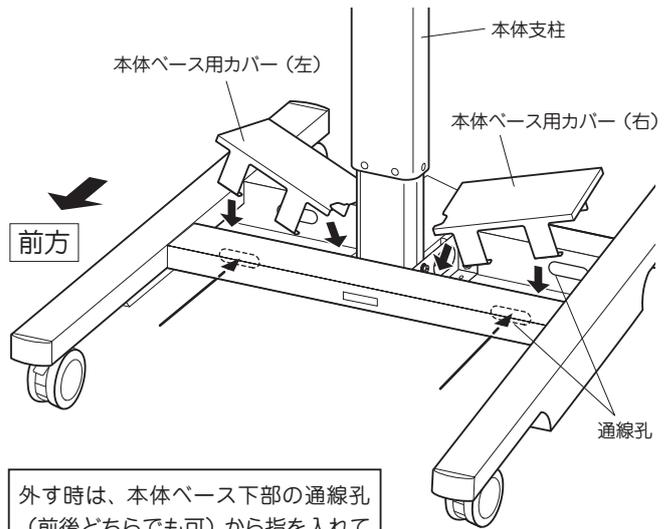


7 本体ベース用カバーの取付

- ①図のように本体ベース用カバー（左・右）を本体支柱側に少し傾けて、落とし込むようにして本体ベースの小型機器収納スペースに被せてください。

⚠注意

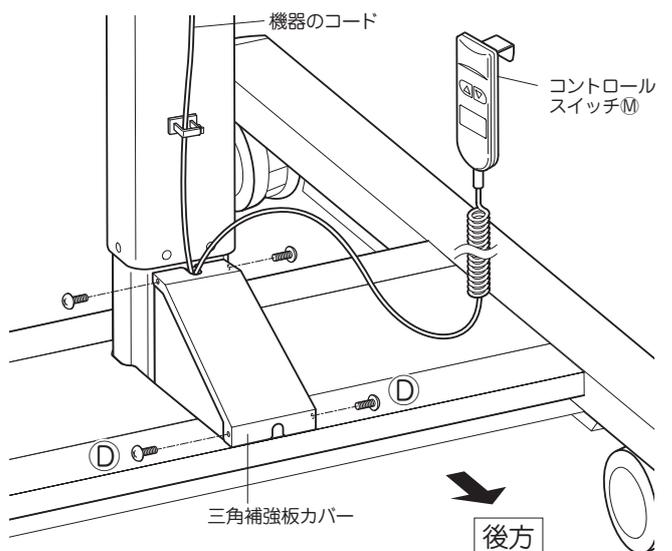
カバーを被せるとき、線材に乗り上げたり、挟んだりしないように注意してください。



外す時は、本体ベース下部の通線孔（前後どちらでも可）から指を入れて上に押し上げて取り外してください。

8 三角補強板用カバーの取付

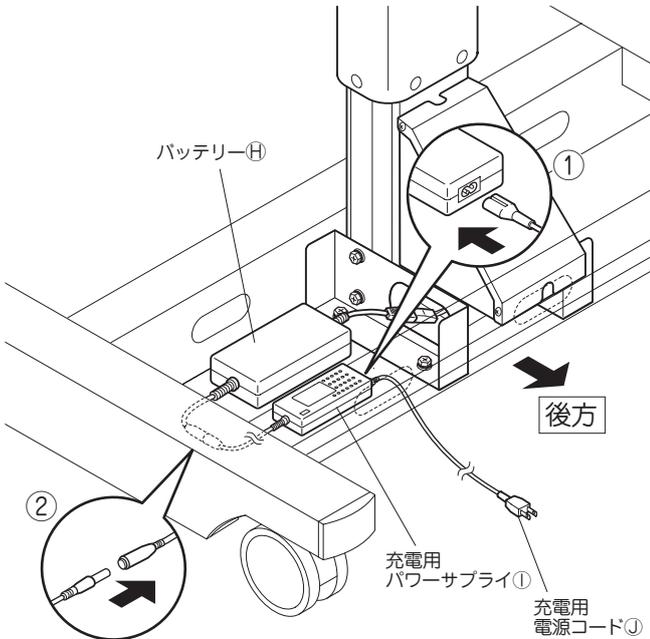
- ①図のように三角補強板用カバーをボルト⑮で取り付けてください。その際、コントロールスイッチ⑭などのコード類を挟まないように注意してください。



組立・取付のしかた

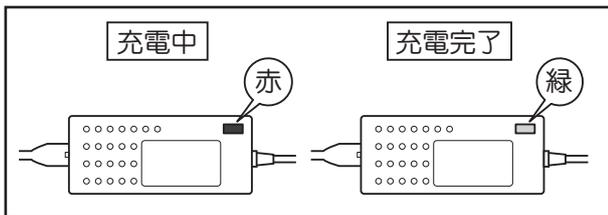
9 バッテリーの充電のしかた

- ① 充電用電源コード④を充電用パワーサプライ①に接続してください。
- ② 充電用パワーサプライ①のプラグとバッテリー⑧のジャックを接続し、電源プラグを本体ベースの通線孔から引き出し、コンセントに接続して充電してください。



■ 充電を開始すると、充電用パワーサプライ①のLEDライトが数分間点滅した後、赤く点灯します。バッテリーが満充電されるとLEDライトは緑に点灯し充電が完了します。

■ 標準充電時間は約3～6時間になります。
(使用状況により異なります。)



⚠注意

- バッテリーの劣化を防ぐため、充電完了後は必ずバッテリーから充電用パワーサプライを取り外してください。
- 警告音があります。
 - 【バッテリー容量低下警告音】
連続音(約15秒): バッテリーを充電してください。
 - 【過負荷警告音】
2秒間隔で約10～15回: 自動的に電力が遮断されます。使用を一度中止し、原因を確認し改善してください。
- スタンドを長期間(2ヵ月以上)使用しない場合は、バッテリー接続ケーブルを本体から抜いてください。再び使用を開始する前は、必ずバッテリーを満充電してください。

- ③ 充電完了後は、充電用パワーサプライ①及び充電用電源コード④は本体ベースの機器収納スペース内に保管してください。

※必要に応じてマウントベース⑥と結束バンド⑦で固定してください。

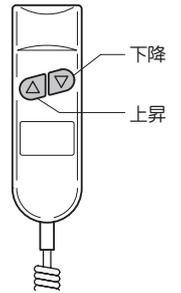
● 本体の昇降のしかた

当製品の上下調整はコントロールスイッチ⑭で操作します。▲▼ボタンでお好みの高さに調節してください。

※押し続けると作動し、離すと停止します。

⚠注意

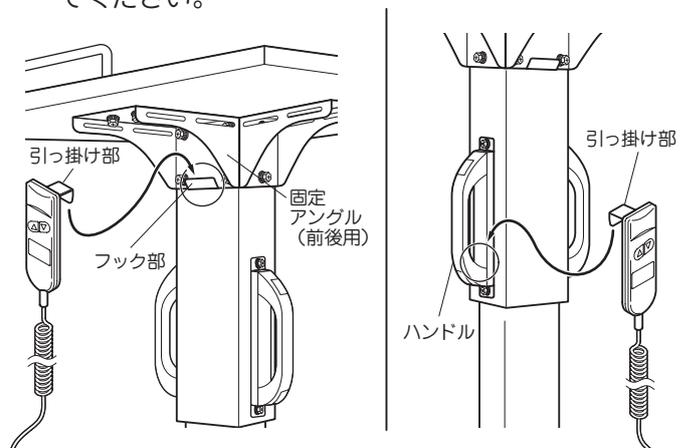
- ボタン操作をする際は、それぞれ2秒以上の間隔を開けてください。
- 1分間連続運転した場合は、必ず9分間休止させてください。



● コントロールスイッチの引っ掛け

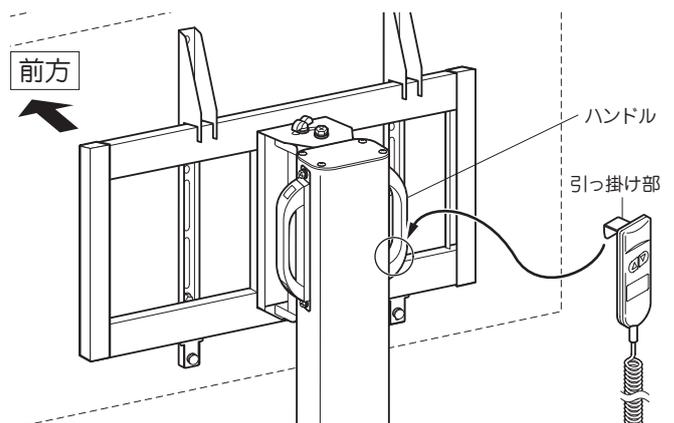
■ ULS-JT2000の場合

固定アングル(前・後)のフック部のスリットまたはハンドルに、コントロールスイッチ⑭を引っ掛けてください。



■ ULS-M1の場合

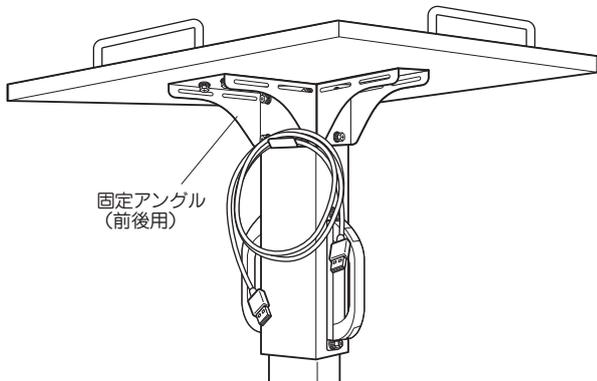
ハンドルにコントロールスイッチ⑭を引っ掛けてください。



組立・取付のしかた

●ケーブルホルダーについて (ULS-JT2000限定・使用は任意)

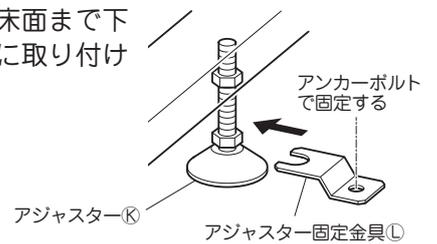
固定アングル（前後用）のフック部はケーブル類を引っ掛けることができます。



●床固定金具について

本体ベースにアジャスターⓀを取り付けた場合は、付属のアジャスター固定金具Ⓛで本体を床に固定することができます。

アジャスターⓀを床面まで下ろして、図のように取り付けてください。

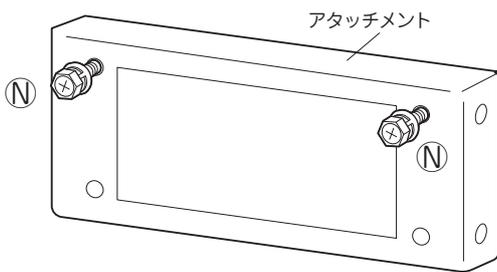


⚠警告

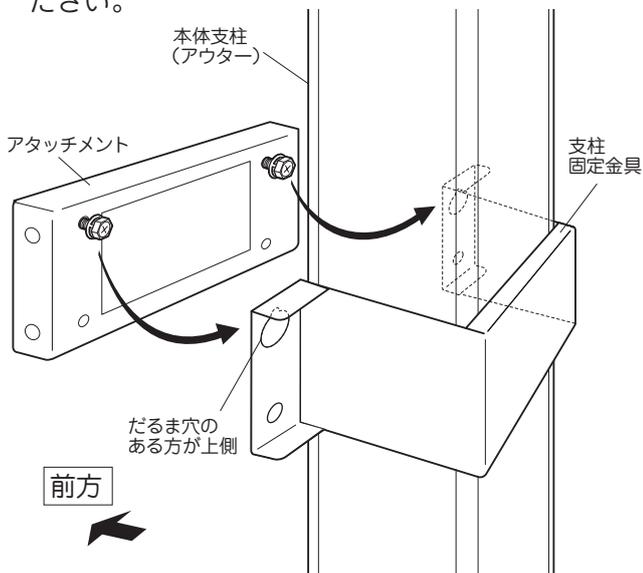
キャスターが浮き上がるまでアジャスターを下げ過ぎないように注意してください。

10 オプション棚板 ULS-T (別売)の取付

①アタッチメントに下図のように取付ボルトⓃ (2本)を緩く仮止めしてください。



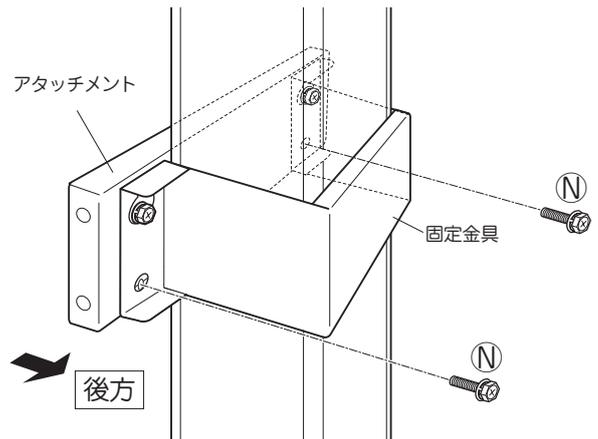
②本体支柱（アウター）のお好みの位置に支柱固定金具を背面から差し込み、①で仮止めしたアタッチメントの取付ボルトをダルマ穴に引っ掛けてください。この時、固定金具の上下方向に注意してください。



⚠注意

引っ掛けた固定金具が脱落しないよう注意してください。

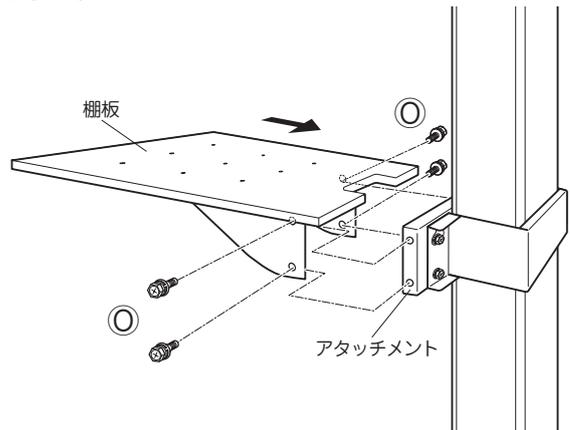
③アタッチメントをしっかりと手で保持しながら、残りのネジ穴にも取付ボルトⓃ (2本)を取り付け、全てのボルトをしっかりと締めこんでください。



⚠注意

固定金具とアタッチメントとの間に隙間が出ないように完全に締め付けてください。

④棚板の取付穴とアタッチメント左右のネジ穴を合わせ、取付ボルトⓄ (4本)でしっかりと締め付けてください。



バッテリー・充電用パワーサプライ 技術仕様

〈セルタイプ式リチウムイオンバッテリー〉

- 出力電圧：通常時 25.9±0.2VDC
フル充電時 29.4±0.2VDC
- 出力電流：最大5.0A
- 容量：1500mAh
- 過負荷保護電流：6.0A
- 保管時環境温度：0℃～45℃
- 作動時環境温度：10℃～40℃

〈充電用パワーサプライ〉

- 入力：AC100V 50/60Hz
- 出力：最大電圧 DC30V/最大電流 0.5A
- 環境温度：充電時 0℃～45℃
保管時 -20℃～35℃

使用上のご注意

- バッテリーは出荷時に約75%充電されています。使用前に必ず満充電にしてご使用ください。
- バッテリーの劣化を避けるため、充電完了後はかならず充電器から外してください。また専用の充電器のみで充電してください。
- バッテリーが正常に機能しない場合は必ず販売店へご連絡ください。また、バッテリー及び充電器を改造・分解した場合による故障、トラブルに関しましては、弊社では責任を負いかねます。
- バッテリーの充電が少なくなった状態で使用すると、約15秒間にわたりバッテリーから低電圧警告音を発します。その際は一度使用を中止し、バッテリーを満充電した状態でご使用ください。
- バッテリーは過負荷保護システムを備えています。万一過負荷電流が発生した場合、電力は自動的に遮断されます。警告音は約2秒間隔で10～15回程発し、過負荷原因が改善されると再び使用できるようになります。
- ハンドスイッチにてボタン操作をする際はそれぞれ2秒以上の間隔を開けてください。また、1分間連続運転した場合は必ず9分間休止させてください。
- バッテリーの劣化を避けるため、2ヵ月以上使用しない場合はバッテリー接続ケーブルを本体から抜いてください。再び使用を開始する前は、必ずバッテリーを充電してください。

安全上のご注意

 バッテリー漏れは健康被害と肌や目のやけどを引き起こします。バッテリー液は触ったり飲み込んだりしないでください。もし付着した場合は、水で洗い速やかに医師の治療を受けてください。

 こどもや、取り扱い方法、危険を充分理解しないものに触らせないでください。

 バッテリーを水の中に入れてください。また機械的な振動があるところへ設置しないでください。

 バッテリー及び充電用パワーサプライを分解・改造をしたり、火気に近づけないでください。液漏れや火災、引火爆発の原因、失明、やけどの原因となります。

 長期間使用しない場合には、バッテリーを本体から抜いてください。バッテリーの劣化の原因となります。

 環境温度範囲以内で使用してください。凍結や過熱により破損や故障の原因となります。

*仕様・外観は予告なく変更することがございますのでご了承ください。

販売店名

株式会社 共栄商事

●お問い合わせは各営業所まで

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-17-7 ☎03-3719-2411 FAX 03-3719-2882
〒003-0806 札幌市白石区菊水6条2-6-30 2F ☎011-824-2811 FAX 011-824-2812
〒980-0011 仙台市青葉区上杉4-5-22 ☎022-263-0963 FAX 022-263-0910
〒464-0858 名古屋市千種区千種3-30-20柴田ビル ☎052-732-7441 FAX 052-732-7477
〒540-0021 大阪市中央区大手通2-2-13 2F ☎06-6946-1421 FAX 06-6946-1435
〒730-0051 広島市中区大手町3-9-13松永ビル ☎082-541-5321 FAX 082-541-5325
〒812-0015 福岡市博多区山王1-8-35岩瀬ビル ☎092-472-3865 FAX 092-472-3866

●本社

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-17-7